



ようこそ大崎町へ！3名の国際交流員が着任しました。

JETプログラムを通じて、フィリピン出身のミアさん、ベトナム出身のリンさん、インドネシア出身のインタンさんが大崎町にやって来ました。3名はそれぞれ日本の文化に深い関心を持っています。ミアさんは資源を大切にする「もったいない」の精神に、リンさんは将棋や生け花などの伝統文化に、インタンさんは日本語の言葉の美しさや四季の行事に魅力を感じています。

● 日本での思い出

大崎町に来る前にも来日経験のある3名は、日本での忘れられない思い出として、「人の温かさ」を挙げています。ミアさんは、点字ブロックや手話での放送など障がいを持つ人々への配慮が行き届いた社会に、リンさんは以前、日本で起業した際に、手続きや悩み事を周りの方が自分事のように親身に相談に乗ってくれたことに、インタンさんは街で通りかかった知らない人でも、困っているときに手を差し伸べてくれる人の多さに感動したそうです。

● 文化の違いを乗り越えて

新しい環境での生活には、もちろん挑戦も伴います。車社会での移動に最初は戸惑いを感じたそうですが、今では豊かな自然に囲まれた穏やかな暮らしを満喫しています。また、日本ならではのコミュニケーションや、資源ごみの分別ルールなど、日々文化の違いと向き合っています。大変なことも含めて新鮮な発見として捉え、前向きに新しい生活様式を学んでいます。

● 未来への架け橋に

彼女たちは、大崎町での未来に共通の大きな夢を描いています。それは、町民と町に暮らす外国人との信頼できる「架け橋」になることです。町に住む外国人が快適に生活できるよう情報提供で貢献したり、同じ国の人々との繋がりを深めたりと、今後の活動に情熱を燃やしています。

新たに3名の国際交流員を迎え、昨年度に着任したミャンマー出身のサンダーさんと合わせて4名体制となりました。彼女たちは、慣れない環境での苦労も、日本の文化や人々の優しさに触れながら、持ち前の明るさと探究心、「架け橋」になりたいという想いで乗り越えようとしています。



左からリンさん、インタンさん、ミアさん、サンダーさん

町では国際交流員による出前講座を受け付けています。実施を希望される場合は、お電話か右の二次元コードよりお申し込みください。

- 【対 象】 学校・自治公民館などが主催する講座
【日 時】 平日10時から16時までの間で1時間程度
【内 容】 国際交流員の出身国の文化や生活習慣の紹介など



多文化共生サポーターを募集しています！

興味のある方は、右の二次元コードから登録をお願いします。



問 企画政策課
共生協働係 (221)
「きっかけは、声かけから！」